

































6月 セルフだより

★活動内容★

月	火	水	木	金	土
					1 運動あそび 
3 課題あそび 	4 感触あそび  持ち物:スモック	5 屋外あそび  持ち物:帽子	6 音楽あそび 	7 絵画あそび  持ち物:スモック	8 休み 
10 音楽あそび 	11 課題あそび 	12 絵画あそび  持ち物:スモック	13 運動あそび  手指あそび 	14 運動あそび 	15 感触あそび  持ち物:スモック
17 感触あそび  持ち物:スモック	18 運動あそび  手指あそび 	19 課題あそび 	20 絵画あそび  持ち物:スモック	21 音楽あそび 	22 休み 
24 屋外あそび  持ち物:帽子	25 運動あそび 	26 避難訓練 (噴火・津波) 音楽あそび 	27 課題あそび 	28 感触あそび  持ち物:スモック	29 休み 

○今月の活動

絵画あそび

フィンガーペインティングをします。手や指で絵の具の感触を味わいながら、線や模様を描いたりして表現することを楽しみます。

運動あそび

巧技台やマットを使って、ダイナミックに身体を動かしたりさまざまな動きの模倣をしたいと思います。

○公認心理師の来所日

7日(金)、17日(月)、19日(水)、24日(月)

○言語聴覚士の来所日

3日(月)、6日(木)、10日(月)、11日(火)、12日(水)、15日(土)、18日(火)、21日(金)、24日(月)、26日(水)、28日(金)

○理学療法士の来所日

5日(水)、14日(金)、20日(木)、25日(火)

○作業療法士の来所日

1日(土)、13日(木)

横書きのはじまり

日本語には縦書きと横書きがあります。世界的にみると2種類の書き方がある言語は珍しいのだそうです。時々、ひらがな練習中のお子さんについて保護者の方から、「横書きの文字は読むのも、書くのも、右からなんです」という相談があります。日本語は左から右へ書く「左横書き」ですので、確かに右からでは意味が合わなくなってしまいます。

私は子どもさんの発達を考えながら、ふと、「昔の日本では右横書きだったのでは？」という疑問が浮かびました。古い新聞の見出しなどで見かけたことがあります。いつから「左横書き」になったのでしょうか。

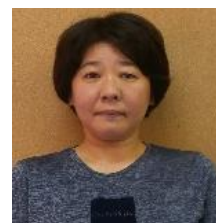
日本の文字は漢字が入ってきた時にできたもので、もともと縦書きしかありませんでした。横書きは幕末～明治にかけて、横書きのヨーロッパの文字が入ってきたことで始まり、それまでの慣習（縦書き・右から左へ行を進める）や外国語への知識不足から右横書きと左横書きが混在していたようです。太平洋戦争前に右横書きが優勢になる時期を経て、1950年ごろ「なるべく広い範囲にわたって左横書きとする」と公用文作成の基準が定められ現在に至っています。私たちの「左横書き」の歴史は意外と浅いようです。一つの文字の書き順も左から右ですし、右利きの人が右横書きで書くと手で文字がこすれてしまうので、自然なことかもしれません。

さて、子どもの読み書きの発達は、生活の中のさまざまな場面で文字に触れ、文字の形や働きに気づくようになることから始まります。自分でも文字と音を結びつけて、読むふりや書くふりをするようになり、いくつかの文字を読めるようになっていきます。ただし、いくつかの文字を拾い読みできるようになっても、すぐに読みながら意味が理解できるわけではありません。単語のまとまりや意味の区切りに気づくのは少し後になります。書くことになると更に時間がかかります。その過程で文字の並びの規則性に気づかず、右から読んだり、書いたりしてもさほど心配はいりません。書くことに関しては鉛筆の操作に慣れていないことも関係しているでしょう。保護者の方がよく気にされる鏡文字（文字の左右が逆になる）も左右・上下の形の認識が未熟な幼児期には比較的よくみられます。まずは規則性などは気にせず、自由に読んだり、書いたりすることを楽しむのが大切だと思います。

読み書きだけにかかわらず、子育てには疑問や不安に思うことがたくさんあると思います。

お伝えできること、一緒に考えられることがあると思いますので、気軽に私たちにお知らせください。

言語聴覚士 飯上 桃子



おしらせとおねがい

1 療育時間の変更について

コドモンでもお知らせしましたが、6月3日(月)より、平日午前、土曜日の療育時間を変更することとなりました。

(平日) 9:30～12:45 (昼食提供あり)

(土曜日) 10:00～13:15 (昼食提供あり)

※土曜日の療育は1回のみとなります。(午後のみのクラスはありません。)

※平日(午後)の時間変更はありません。(15:00～17:00)

○昼食代は1食297円となります。

※利用をキャンセルする際は、平日は**当日9:00まで**、土曜日は**前日金曜日12:00まで**にご連絡をお願いします。

上記の時間以降の連絡になりますと昼食代(¥297)が発生しますのでご注意ください。

ご不明な点やご相談等がございましたら、セルク職員までお問い合わせください。